

## 判決間近・聖餐式

今日の聖書預言に入る前に、いくつかお話しておきたい事があります。まず初めに、息子のために祈ってください、ありがとうございました。息子は現在随分と良くなりました。感謝祭の間、息子はほとんど入院していました。というより、退院して家に帰るとまた痙攣を起こしてすぐに病院に戻り、出たり入ったりをしていたのです。しかし神は、続けて共に居てください、どこへ行っても、どっちを向いても、主の御手がそこにある事が実に明らかです。先週の火曜日、息子の神経科医に会いました。まさに、神が私たちに最高の神経科医だけでなく、クリスチャンの神経科医を与えてくださったのです。フェイスブックとツイッターで投稿しましたが、息子の担当医は、ハワイ、パシフィック神経科学の Kore Liu 神経科医で、彼は熱心なクリスチャンです。その彼が、感謝祭のしかるべき時間に、病院に勤務していたのです。そして先週の診察では、彼は息子と私と一緒に祈ってくれました。彼が私たちの手を取って、「祈りましょう！」と言ったのです。彼はまず、抗痙攣薬が息子に合い、息子がまた仕事に戻る事に、神に感謝を捧げてくれました。これは神にしかできない事で、この事で私は神を讃えます。また、みなさんのお祈りに感謝します。ありがとうございます。もう1つ取り急ぎ、お話ししたいのは、私の家族はクルーズには行っていません。確かに、ある人が私を招待してくれたとは言いました。

「Pastor JD!クルーズを楽しんでいますか！」と言ったメッセージをたくさん受け取りましたが、私はこの2週間、息子と共に病院にいました。と言っても、この先も招待してもらったクルーズには行かないと言っているわけではありません。みなさん、ご理解いただいていると良いのですが、私はこれ以上、この説教台を離れたくないのです。特に、世界が地政治的にも預言的にも、今のこのような状態にある時に。それから教会にとっても、牧師が説教台にいる事は大切だと思います。それは、仕事中毒の私にとっては、都合が良いのですが。私はここに居なければならないという事を、皆さんにもご理解いただければと思います。

もう一つ手短にお話ししてから始めます。今年初めにお話しした、Billy Crone 牧師の、携拳ドキュメンタリーについてお問い合わせをいただいておりますが、現在、本、参考書、DVDのセットで発売されていて、[www.getalifemedia.com](http://www.getalifemedia.com) でご購入可能です。前にも言いましたが、患難前携拳の健全な教えに対する発狂的な攻撃が激しさを増している今、これは特に必要な情報です。これは健全な教えで、言うまでもなく、しばらくここに通っておられる方なら、耳にしているでしょう。私は預言の太鼓を叩き続けます。“太鼓を叩く”という表現をずっと使いますが、私は自分の死か、携拳の時まで、どちらけと言えど携拳を願いますが、太鼓を叩き続けます。

では預言アップデートに入りましょう。

法的な表現で「陪審員がまだ戻っていない※」という言葉を使いたいと思います。もっと重要な事は、「審判は間もなく下る」という事でしょう。どうしてこのような表現を使ったかと言うと、今の世の中は、皆さんも感じていると思いますが、不気味なほどに、陪審員が意図的に席をはずしている様子に似

ています。まるで、判決が下る、日、時を誰も知らないかのようです。預言的な証拠はすでに検証されていて、判決が下るまで、あとは時間の問題です。問題は、“もし”ではなく“いつ”裁きが下るのか。これはもう時間の問題です。また、いつでも起こり得るのです。陪審員が席を外しています。陪審員はここしばらく席を外しているのです。それがいつなのかは、私たちには分かりません。ただ、判決が下される事は分かっています。ここで、判決に結び付く預言的証拠に関して、締め論証を提示したいと思います。預言的な法的証拠は、いかなる疑問もはるかに超えて、陪審員が有罪判決に至る十分な証明をしていると私は思います。有罪です。そして、この有罪判決に続いて、神の裁きがすぐに起こります。それは7年の大患難で始まり、それは、7年の大患難の前に起こる携拳の後に起こります。ダジャレを使って申し訳ないですが、「The Elephant in Room」(意味：誰もが認識しているが、口に出したくない) みなさん笑うでしょうが、これは民主党のロバですが、共和党のゾウが部屋の中に居ます。共和党大統領によって、共和党議員の中に、さらには共和党議会の中にも。みなさんお気づきですか？共和党員が大多数を占めるのは、1928年以来初めて88年前です。私は誰に対しても、水を差すつもりはありませんが、それでも我々にはまだ時間があると思っておられる方が中には居るようなのです。判決の結果、共和党の大統領が与えられ、共和党が議員と議決を支配する。だから私たちは一息ついて、深呼吸出来る、まだ時間があると思っている。繰り返しますが、私は水をさすつもりは無いのです。ただ敬意を持ちつつ、その意見には反対します。そして、真実はその逆だとお伝えします。私の結論として、これは、人類史上 世界の歴史を閉じることになる。どのように結論に至ったか、まだなぜ、私たちは残された時間がさらに少なくなったと思うか実証したいと思います。

理由の一つは、トランプの選んだ内閣です。これがなかなか面白いのです。証拠はこの The Times of Israel の記事です。トランプが国防長官に選んだ人物は、退役アメリカ海兵隊将官 James Mattis で、またの名を“狂犬 Mattis”と呼ばれています。明らかに、彼は色々な定評のある人のようです。それは当然受けるべきもので、私は何一つとして、彼からそれを取り上げたくはありませんが。もし、これがこの先起こる事を示唆しているなら、トランプ陣営は、預言の大旋風を巻き起こすことになるでしょう。私はもうすでに起こっていると思いますが。なぜこういうかと言えば、先ほどお話しした、Mattis の発言で、彼は言いました。“イスラエルの入植計画によって、国がアパルトヘイト国家になり得る。そしてアメリカ合衆国は、イスラエルを支持する事で、その対価を払う事になる。”これは、ただなりません。The Times of Israel によると、Mattis の履歴には、2年間のアメリカ合衆国中央指令センターのトップであった事が含まれます。これがある意味物語っていますが、2010年8月から2013年3月の間、バラク・オバマの下で、です。2013年7月、Mattis は言いました。『現在のイスラエルの状況は“支持できない”。そして入植は、イスラエルとパレスチナの二国共存案の成立を妨害している』コメントはまるで、イスラエル助言役から報告されたトランプの立場を無視しているようです。私はこれに少し心配しています。イスラエルの入植を、イスラエルが合法的に所有しているものを、アパルトヘイト国家を創り上げているなどという人物を、トランプが選んでいる。これは実に深刻な非難で、しかも違法です。次にトランプにとって公平となるように、11月2日、トランプ次期大統領は、1995年の“エルサレム大使館決議”を実行するという書類に調印しました。それは何か？これは世界中で様々な意味で、流れを変えることになると思います。理由は、イスラエルのアメリカ大使館が、テルアビブからエルサレムに移転するという事の意味です。去年私たちの一緒にイスラエルにいったみなさんは、アメリカ合

衆国が大使館を、テルアビブからエルサレムに移転するために、購入した土地の前を通りましたね。では、どうしてこれが流れを変えるのか？それは、それによってアメリカ合衆国が、テルアビブでなく、エルサレムをイスラエルの首都だと認めざるを得なくなるからです。その結果、預言的に深い影響を受けます。特に神殿の再建に関して、ゼカリヤ書 12:1-3 の中に書かれている通りです。

**“宣告。イスラエルについての主のことば。——天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。——見よ。わたしはエルサレムを、その周りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。すべてそれをつづぐ者は、ひどく傷を受ける。地のすべての国々は、それに向かって集まって来よう。”**（ゼカリヤ 12:1-3）

“すべてそれをつづぐ者”とは、分断し切り取るものです。移民、壁の建設、経済、それらすべてを上回って、次期大統領がもたらした、全ての公約を上回って、最高裁判官に保守派を任命するという事も、全ての選挙公約も、何も意味を持たない。エルサレムの状況の深刻さに比べると、全く意味がない。エルサレムです。それらのどれも意味を持たない。すべては、ここエルサレムにかかっています。

これは聞いていますか？気が進みませんがお伝えします。反イスラエル派の、元アメリカ大統領ジミー・カーターが、同じくらいに反イスラエル派の現大統領バラク・オバマに、任期が終わる前に、エルサレムを分断するように急ぎたてました。New York Times の論説、タイトルは “ジミー・カーター：「アメリカはパレスチナを認識すべきだ。」” その中で、エジプトと、イスラエルの平和を壊したカーターがオバマに、1月に任期終了する前に、そうするように呼び掛けた。それだけでなく、カーターはイスラエル、パレスチナ解決案の対立に、境界線を設ける国連安保理決議を支持するようにオバマに呼びかけました。発言を引用します。

——安保理は、両者の修正交渉が可能なうちに、1967年国境を超える、全てのイスラエルの入植が不法である“**不法性**”を再び主張するべきである。イスラエル、パレスチナ両方にとって、安全保障は必須事項である。そして、決議はイスラエル、パレスチナ両国が、**平和と安全**の中で暮らす権利を認めなければならない——

言うまでもなく、これは様々な意味で深刻な問題を含んでいます。問題は多数ありますが、その中の一つは、これをする事によって、東エルサレムを分断する事になるということです。ゼカリヤが預言した通りです。そしてパレスチナ人には、彼らの不法国家の首都に、エルサレムを与えることになります。これは不法です。そして私個人的には、これを実現化する事によって、ゼカリヤ書だけでなく、テサロニケの教会に送ったパウロの預言も成就させることになると思います。

**“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に——”** 第一テサロニケ 5:3

訳によっては、「安全」を「無事」と訳されているものもあります。ここは、ギリシャ語で *Asphaleia*、「平和だ安全だ」「平和だ無事だ」どちらにも訳す事が出来ます。

**“「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります—”**

彼らが「平和だ安全だ」と言っている間に、突然の滅びです。

**“ちょうど妊婦の苦しみが臨むようなもので、それを(彼らは)のがれることは決してできません。”**  
(第一テサロニケ 5:3)

パウロがテサロニケの教会に最初に書いた手紙の中で、私は何が好きかと言えば、彼は、“私たち”と“彼ら”で表現しているところです。“私たち” 生きている者はそこから逃れ、“彼ら”は逃れられない。“私たち”と“彼ら”の間に区別があるのです。それに対して私たちは、“私たち”になりましようと言えまう。“私たち”になりましよう。

この接点は何かと聞かれるなら、これがどのように繋がっていくのか？これはどこへ向かっているのか？トランプが何かをすると言うのか？それともオバマが、任期終了前に何かをするのか？それとも、任期終了後に国連を通じて何かするかもしれない。それもまた1つの道でしょう。私の答えは…、繰り返しますが、陪審員は席を外しています(※まだ結果は出ていない)。しかし、判決が下るのに、大統領就任日まで待つ必要もないと思います。みなさん、気づいていらっしゃいますか？衝撃的に伝えるつもりはありませんが、就任日まで残り46日です。なぜ大統領就任日まであと46日だと知っているかというところ、ある人が“カウントダウン時計”を買ってくれたのです。これを私は事務所と、家の良く見えるところに掛けてあって、オバマの任期が終わるまでの日をカウントダウンしているのです。そこで、人が訪ねてきた時に、時計にはオバマの写真が貼ってありますから、みんなオバマの写真を見て言うのです。「へえーオバマの写真を飾っているんだ」と。そして私は時計を外して見せるのです。「だから、この写真があるんだ」と。

ともかく、残り46日です。46日間に、何が起こり得るか分かりますか？先週の土曜日の *The Jerusalem Post* 記事の見出しは、疑問文で書かれていました。“オバマ政権は、イスラエルに対して、沸点に達しているのか？”私にとっては、まるで答えるまでもない質問に見えますが、記事の一部を引用してみましょう。

“バラク・オバマが、イスラエル、パレスチナに関して伝説を残すために、大統領暫定措置を利用するのではないかという憶測が飛び交っていて、大統領演説で、二国共存案を示唆する構想を敷くか、もしくは国連安保理を利用して、二国共存案を推し進める外交的爆弾発言の入植を批難するか。イスラエルとパレスチナ間で**最終地位同意**のガイドラインと、予定表を設定するか。”

これらの“自称パレスチナ”を証明するのに、オバマが大統領になる前の年を見れば十分です。子どもの頃私は、エジプト人の父とヨルダン人の母から、私はパレスチナ人だと言われて育ちました。いわゆ

るパレスチナ人です。しかし、証拠は疑う余地もなく、彼らは二国共存案なんか求めていないのです。なら、彼らは何を求めているのか？彼らは、イスラエルと二国共存なんてしたくない。彼らが求めているのは、“ヒトラーの最終解決”（ユダヤ人大虐殺）です。イスラエルの絶滅です。エルサレムに関して、Joel Rosenbuerg にいわせれば、エルサレムは震源地。まさに震源地なのです。神の預言時計の秒針です。聖書預言の時計で、今が何時か知りたければ、エルサレムを見てください。エルサレムを見て、エルサレムで起こっている事を見るのです。だから全てがエルサレムを中心にしているのです。すべてがエルサレムを中心に回っています。繰り返しますが、私がこのエルサレムの預言太鼓を叩く理由は、それは最も重要だからです。誰が大統領になろうと関係ない。これを理解しておいてください。私は、トランプの勝利から、何かを差し引くつもりはありません。あれはまさに祈りの答えだと思っていますから。それでも、それでもです。誰が大統領になったとしても、すべてはイスラエルの永遠の首都、神が文字通り、所有者としてその御名を置かれた都、エルサレムに起因するのです。ちなみに、エルサレム Yerushalayim、アラブ語では、Yarusalem。Salem Ale Kum とは、「平和があなたの上にある」という意味で、Ya ru とは、「平和の所持」を意味します。なので Yarusalem とは、文字通り「平和の所有」を意味します。それ以外の何ものでもない。しかしエルサレムは、イエスが新しいエルサレムに來られて支配されるまでは、決してエルサレムにはなりません。しかしその時は、正真正銘平和を所持する所となります。なぜなら、平和の君によって所有されるからです。

ところで、みなさん面白いと思いませんか？イスラムは、ニューヨークやパリには関心がなく、カニオへでもなく、彼らの関心はエルサレムなのです。なぜエルサレムなのか？そのこと自体が証明していますよね？ここが、神が御名を置かれた都である事を証明しています。それからみなさん、これについては聞いておられるか分かりませんが、テレビのニュースや大手メディアでは全く語られていない事です。イスラム教徒が、イスラエルを焼き尽くそうとしたのです。The Washington Post が報じたのは、イスラエル警察が金曜日、何千二人の人々が避難を余儀なくされ、国中に大きな被害をもたらした大火事の容疑者として、少なくとも12人が拘留されたと発表。高官と政府は、エルサレム地域から国の北側に広がった今回の火事の、少なくとも半分は意図的に起こされたものだと言いました。彼らはただちに、火事は新しい形のテロ攻撃だと分類しました。

ところで、アメリカ合衆国の火事も怪しくないですか？これに関しても聞いていないですか？考えてみてください。報道されている、ベンジャミン・ネタニヤフ首相の発言は、「イスラエルは、新しい形のテロ攻撃、“放火魔”に直面している」彼はまた言いました。「火事の中の数件は、意図的にもたらされたものである事が証明されており、その責任は、イスラエルに敵対するパレスチナ人国家主義にある事を示している」これはまだ、優しい言い方ですね。これが意図的であるかどうか、まだ疑っている人には、「陪審員はもう戻ってきている」と言いましょ。その証拠に、先週の日曜日の Breaking Israel News の報道での見出しは、

“イスラエルが燃えている：アラブのソーシャルメディアが、イスラエルの火事で狂喜している”

紹介するのはほんの一部ですが、それでも実に嘆かわしい事で、読むに耐えかねます。その理由でこれを引用するわけではありませんが、イスラエルを愛する皆さんにとっては、かなり心が痛む内容です。

“イスラエル中に広がった火事は、その半分は放火であると見られており、ソーシャルメディアでは、パレスチナ人と広範囲に渡るアラブ人の間で祭り騒ぎが相次ぎ、それに拍車をかけた。ツイッターで投稿され、他のソーシャルメディアで賞賛された発言は「ユダヤ人達は、聖なるパレスチナ人入植地の火を消すために、雨が降るように祈っている。しかし、我々は95%ベンゼン（引火性の高い液体）が空から降り、さらに火の勢いが増すように祈っている”

ソーシャルメディアで、アラブ首長国連邦のユーザー名 “Saif Bilal” は、火事の写真を投稿してこう書きました。

“今、イスラエルの町が燃えている。イスラエル国民は、今夜路上で寝るのだ。アッラーがイスラエルの全都市を焼かれるように！”

もうこれで十分でしょう。最後は、最初に言った言葉で締めたいと思います。

「すぐにでも判決が下される」

陪審員が審議し始めた後、判決がいつ下されるのか、その日、その時は誰も知らず、誰もが見守るよう  
に、私たちも、日、その時は誰にも分からず、いつでも起こり得る携挙を、待ち、見ていませんか？陪  
審員が審議している間、みんなが電話の周りに集まって鳴るのを待ちます。それが鳴ると、判決が下  
る。私たちはクリスチャンとして、ラッパが鳴るのを待ち、見つめます。その時が、携挙だからです。  
しかし、残念ながら問題があるのです。大勢が、差し迫る判決に気が付いておらず、さらには、これが  
永遠の生と死に関わる問題であると、全くわかっていないのです。私は挑発している訳ではありません  
。しかし、それだけリスクが高いという事です。気づいていようと気づいていなかろうと、最終審判  
が下された時、我々のひとり一人が有罪判決を受けるのです。神の法を犯した事で、有罪です。そして  
神の法を犯すという事は、死罪です。

**“それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもいない。」（ローマ 3:10）”**

われわれ全員が有罪なのです。私たちは、みなが罪を犯したのです。

**“すべての人は罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず”（ローマ 3:23）**

そして、ローマ 6:23 には死刑宣告で、前半部分はこうあります。

**“罪から来る報酬は死です。”（ローマ 6:23a）**

これは神の完璧な基準、義である神の法を犯したことに対する刑罰です。我々は誰もが罪を犯したので  
す。我々全員が、神の完璧な基準、神の法を犯しました。これが悪い知らせです。一旦悪い知らせが、  
どれほど悪い知らせなのかを理解したら、次に、良い知らせがどれほど良いものなのかを知る準備が整  
います。良い知らせとは、イエス・キリストによる救いの福音とも呼ばれます。例えて言うなら、主が

私たちのために法廷に入り、私たちの代わりに、死刑を受けてくださった。私たちが罪を犯したから、イエスは十字架にかかり、血を流すことで、私たちの死刑を完全に贖ってくださったのです。イエスは、私たちの死罪を贖ってくださっただけでなく、主は死に打ち勝ち、そのために3日後、死からよみがえられました。今は、御父の右手に座しておられる。主が命をもって支払ってくださったから、私たちは、永遠のいのちの賜物を受け取る事が出来るのです。これが良い知らせ。これがローマ 6:23 の後半部分です。

**“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”**

**(ローマ 6:23b)**

これは、救いの無償の賜物です。しかし、そのために主はすべてを投げ出されたのです。もうすでに支払われています。ちょうどクリスマスのように、私たちは贈り物をしますが、もし相手がお金を払うなら、それは贈り物ではありません。贈り物を贈る方として、あなたが支払いをしますね。そして、これは主が私たちのために、全額を支払ってくださった贈り物なのです。エペソ 2:8-9 で、使徒パウロはエペソの教会に書きました。

**“あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇る事の無いためです。”**

**(エペソ 2:8-9)**

いいですか？では、どのようにして救われるのですか？疑問は、どうすればこの永遠の命という贈り物を受け取れるのか？それはローマ 10:9-10 に書かれていて、子どもにも出来る、実にシンプルな事です。

**“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9)**

理由はこれです。

**“人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:10)**

そして、ローマ 10 : 13 にはこうあります。

**“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」” (ローマ 10:13)**

最後に、これだけお伝えして終わりにしたいと思います。

もし、これまでに主を呼び求めた事がないなら、どうかお願いします。今日、呼び求めてください。今日は聖餐式を行います。これは、イエスが私たちの為にしてくださった事、私たちの為に死んでくださっ

た事を、思い出し、祝うために行います。

祈りましょう。

愛なる天のお父様。あなたが十字架上ですべての代価を支払ってくださった事に、私たちはどうして十分に感謝を伝えることが出来るでしょう。主よ。今日私たちが聖餐式をおこなうにあたり、あなたを思い出し、これを行えるようにして下さった事に感謝します。私たちは、自分たちの救いについて、私たちの救いのために、あなたが支払ってくださった対価について、思い出さなければなりません。主よ。今世界中で起こっている事を見れば、ラッパが間もなく吹かれることは実に明確です。その為に主よ。私たちは祈り、言うのです、マラナタ!!! 主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

※「陪審員は戻っていない」

日本でも陪審員制度と言うのが始まったが、つまり、法廷の場で質疑応答など色々やり取りがされた後、陪審員が外に出て審議をしている間の時間の事。ここで、陪審員が結論を出せば、電話で法廷内の人に有罪か、無罪かが伝えられる。これを、Pastor JD は、私たち人間に例えている。

1つ違うのは、結論は”有罪”と決まっていること。しかし、それが告げられる電話の音の代わりに、鳴るのはラッパであり、判決が下りると同時に、私たちクリスチャンは、居なくなる。

---

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい